

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 清樹会 多機能型児童発達支援事業所 日向の杜		
○保護者評価実施期間	令和7年1月9日		～ 令和7年1月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和7年1月9日		～ 令和7年1月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日向の杜の登園を楽しみにしている。	お手伝い(掃除など)後に、ご褒美シールを準備して、シールがたくさん集まった時には、それぞれの好きなキャラクターなどをカードにしてプレゼントしている。 子どもたちがしたいあそびを活動に反映している。	ごほうびだけではなく、子どもたちが来たいと思える場にするための活動の組み立て、子どもたち一人一人に合った活動の計画、実施、振り返りを職員で行いながら、深め、質の向上につなげる。
2	楽しい行事を開催している。	日々の活動で好きなことをリサーチして、会議を綿密に頻回行っている。 子どもたち、ご家族が行きたいと思うチラシを作成している。 インスタで発信している。 保護者の方に家族の好きなこと等をリサーチして行事に反映している。	保護者の方に早く告知をする。 保護者の方に子どもたちがご家族と参加したいと思っていることを伝えつつ、行事の良さが伝わる活動を展開できるような工夫をする。
3	園庭が広い。	のびのびと外で駆け回ることができる時間を活動に取り入れている。	外での活動が子どもたちの個別支援計画に沿ったものとなるように計画立てて、実施する。
4	音楽教室を行っている。	外部のプロの音楽教師をお招きして、リズムや歌、楽器でのあそびを展開している。その活動の成果をクリスマスお楽しみ会で披露している。	音楽教室の講師と職員が同じねらいのもとに活動の展開をしていく。計画を立てて、実施、講師と共に振り返りをして、計画、実施につなげていく。 子どもたちへのねらいを職員が認識すること。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもたちとの交流する機会が少ない	地域の子どもと交流する認識が、職員にも利用児さん、ご家族にもなかった。 交流する機会についての確認もしていない。	地域の子どもたちとの交流について、保護者の方へのリサーチをする。
2	活動内容が偏っている。 休日(夏休みなど)の活動計画の偏りがある。	子どもたちへの活動に対して、放デイとして5領域を利用した活動計画を立てるという認識、個別支援計画に沿った活動の展開をするという認識が欠けており、子どもたちが好きなあそびをして終わりでいいという考えになっていた。計画を立てて、実施し、振り返りをするの過程が職員がわかっていない。うまく機能できていない。	職員が日向の杜の運営方針等の再確認、個別支援計画の確認、放課後等デイガイドラインの確認、5領域とはの理解を深め、子どもたち一人ひとりにあった活動内容を計画をしている。 子どもたちが面白い、楽しいをベースに活動の展開を行うことを職員がわかっておくようにする。
3	保護者さんとのコミュニケーション不足	送迎時に保護者の方とお話しできるが、自分たちの業務に追われ、お話しする雰囲気づくりまでの配慮まで考えられていない。子どもさんのその日の様子を伝えることが業務的になり、柔らかい気持ちで保護者の方と雑談も含めた話ができている。送迎時だけではなく、面談を実施するなどの工夫もできていない。 保護者の方の気持ちを丁寧に引き出せておらず、不安な思いをさせてしまっている。	子どもさん、保護者さんが安心して日向の杜を利用できるように、丁寧な対応をする。 不安につながるような支援となっていないかの確認を職員同士で声かけしながら、保護者の方が気軽に話ができる雰囲気づくりをする。 保護者の皆さまとれんらくちょうや面談、送迎時に信頼関係の再構築をさせていただく。